

資 料

資料 1	保護者向け事件・事故の通知文（例）	24
資料 2	保護者会の通知文（例）	25
資料 3	心のケア通知文（例）	26
資料 4	緊急保護者会の内容と留意点（例）	27
資料 5	心と身体健康調査「小学生用」（例）	28
	心と身体健康調査「中学生・高校生用」（例）	29
資料 6	教職員による児童・生徒の個人面接について	30
資料 7	配慮を要する人間関係（例）	31
資料 8	教育委員会の対応について	32
資料 9	東京都教育相談センター発行リーフレット（平成17年5月）	34
資料 10	関係機関一覧	37
資料 11	PTSD（外傷後ストレス障害）	39
◆	引用・参考文献	40

資料1

保護者向け事件・事故の通知文（例）

保護者各位

平成○年○月○日

○○立○○学校（園）
校長 ○ ○ ○ ○

保護者の皆様へのお願い

本校（児童）生徒 が、○月○日（○）（事故で）お亡くなりになりました。心より哀悼の意を表します。

学校では、○月○日（○）、緊急全校集会（学年集会・学級指導）において、（児童）生徒に「心のケア」を中心に話をしました。その内容は、以下のとおりです。

- 1 これまでも命の大切さを折りに触れて話してきましたが、今回このようなことが起こり大変残念です。
- 2 生命は一度失ってしまうと二度と再現することはできない、かけがえの無いものです。生命を大事にしてください。
- 3 この件について、事実に基づかない憶測やうわさで物事を語らないようにしてください。
- 4 悩み事などがあれば、信頼できる人に相談してください。できれば先生や家族にも話をしてみてください。

友だちの突然の事故を身近に体験したり、聞いたりすると、子どもによっては一時的に強いショックを受けたり、心の動揺が起きたりすることがあります。

学校では、担任、養護教諭、スクールカウンセラーを中心に、子ども達の様子をよく見て、心のケアに留意いたします。

また、東京都教育相談センターの心理職が今回の件につきまして、○月○日（○）まで来校し、「心のケア」について対応いたします。ご家庭でも「生命の大切さ」のご指導や「心のケア」にご配慮いただけるようお願いいたします。ご心配なことがありましたらご連絡ください。

連絡先

○○立○○学校（園）
電話 ○○○○－○○○○
副校長 ○ ○ ○ ○

資料2
保護者会の通知文（例）

保護者各位

平成〇年〇月〇日

〇〇立〇〇学校（園）
校長 〇 〇 〇 〇

緊急保護者会のお知らせ

本校（児童）生徒が急逝されました件につきまして、下記のとおり緊急に保護者会を開催いたします。急な連絡ではありますが、ご理解のほどお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇曜日） 午後〇時から
- 2 場 所 本校 〇階 〇〇会議室
- 3 内 容 〇〇〇〇〇の件について

連絡先

〇 〇 立 〇 学 校 （ 園 ）
電 話 〇〇〇〇－〇〇〇〇
副校長 〇 〇 〇 〇

資料3
心のケア通知文(例)

平成 年 月 日

第 学年保護者 様

〇〇立〇〇学校(園)
校 長 〇 〇 〇 〇

(児童)生徒の心のケアについて

今回、辛い出来事が起きました。

このような出来事を経験すると、その衝撃から(児童)生徒には様々な反応が生じます。これは普通の対応で、多くは自然に落ち着いてきます。しかし、回復には個人差もあります。

そこで、学校としては(児童)生徒の心のケアが最も重要かつ緊急の取組と考え、東京都教育相談センターと連携をとり、「心と身体健康調査」の実施、「担任を中心とした個人面接」の実施を予定しております。(児童)生徒の状況に応じて、心理職による相談も計画しております。

また、保護者の方もご心配なことがございましたら、心理職による相談も実施できますのでご連絡ください。

連絡先

〇〇立〇〇学校(園)

電 話 〇〇〇〇-〇〇〇〇

副校長 〇 〇 〇 〇

資料4

緊急保護者会の内容と留意点(例)

緊急保護者会の内容

(司会) 副校長(記録) 教務担当主幹・生活指導担当主幹等

1 緊急保護者会開催の趣旨説明 <校長>

- (1) 「事件・事故の報告」「今後の対応の説明」「質疑応答」などの保護者会の構成を簡潔に話す。

2 概要説明及び今後の対応 <校長>

- (1) 学校で把握している事実のみ、時系列で正確に説明する。
- (2) 児童・生徒にいつ、何を、どのように伝え、どのような指導をしたかを説明する。
- (3) 今後の児童・生徒への対応方法(特に心のケアを行っていくことを重点とすることなど)を説明する。
- (4) 心のケアについては、児童・生徒だけでなく、保護者からの相談も受けることを説明する。
- (5) 外部の関係機関(教育委員会、教育相談機関、警察署、病院など)との連携について説明する。

3 児童・生徒の心理状態、体調の変化、家庭での心のケアについて

<養護教諭またはスクールカウンセラーなど>

学校での現段階での児童・生徒の心理状態や体調の変化などについて説明し、家庭での対応について依頼する。

4 保護者への協力依頼 <校長>

- (1) 子どもの様子をよく見て、話を聴くこと。
- (2) 保護者がいつも見守っているという安心感をもたせること。
- (3) 「辛い、悲しい事を1人で抱え込まなくていいんだよ」と声をかけること。
- (4) 学校としては、保護者の協力を得ながら、心のケアに取り組むこと。
- (5) 子どものことで心配なことがあったら、担任などに相談すること。

5 質疑応答

- (1) 回答は、質問により、校長・教務主任・学年主任・担任・養護教諭・スクールカウンセラーなどが校長の指示のもとに行う。
- (2) 想定質問の例

「学校は、関係児童・生徒の変化を気付けなかったのか？」

「いじめはなかったのか？」

「原因は何か？」

「最近の様子はどうだったのか？」

「学校での安全教育はどうだったのか？」

「命の大切さをどう指導してきたのか？」

「学校での子ども達の様子はどうか？」

「遺書はなかったのか？」

「カウンセリングで心のケアができるのか？」

心と身体の健康調査

私たちにとって、とてもつらいことが起こりました。この事件（事故）のことを知ってからあなたの様子について教えてください。次の質問にあてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------|----|----|-----|
| 1 眠れない。（夜中に目がさめる） | はい | 少し | いいえ |
| 2 いやな夢やこわい夢をみる。 | はい | 少し | いいえ |
| 3 気分がしずむ。 | はい | 少し | いいえ |
| 4 小さな音でも驚く。 | はい | 少し | いいえ |
| 5 だれとも話す気になれない。 | はい | 少し | いいえ |
| 6 いらいらする。 | はい | 少し | いいえ |
| 7 心配で落ち着かない。 | はい | 少し | いいえ |
| 8 いやなことを思い出させる場所や人からはなれる。 | はい | 少し | いいえ |
| 9 どきどきしたりびくびくしたりする。 | はい | 少し | いいえ |
| 10 なんでも自分のせいだと思う。 | はい | 少し | いいえ |
| 11 思い出したくないのにいやなことを思い出す。 | はい | 少し | いいえ |
| 12 食事がおいしく食べられない。 | はい | 少し | いいえ |
| 13 勉強などに集中できない。 | はい | 少し | いいえ |
| 14 頭やおなかが痛い。 | はい | 少し | いいえ |
| 15 何となく不安だ。 | はい | 少し | |

今の気持ち 相談したいことがあれば書いてください。（どんなことでもいいです）

第（ ）学年（ ）組（ ）番 名前（ ）

心 と 身 体 の 健 康 調 査

私たちにとって、とても辛い出来事が起こりました。この事件（事故）のことを知ってからあなたの状態について教えてください。以下の質問にあてはまるものに○をつけて下さい。

- | | | | |
|----------------------------|----|----|-----|
| 1 眠れない。（寝つきが悪い・夜中に目がさめる） | はい | 少し | いいえ |
| 2 いやな夢やこわい夢をみる。 | はい | 少し | いいえ |
| 3 気分がしずむ。 | はい | 少し | いいえ |
| 4 小さな音でもびくつとする。 | はい | 少し | いいえ |
| 5 人と話す気になれない。 | はい | 少し | いいえ |
| 6 いらいらする。 | はい | 少し | いいえ |
| 7 気持ちが動揺する。（落ち着かない） | はい | 少し | いいえ |
| 8 いやなことを思い出させる場所や、人や物をさける。 | はい | 少し | いいえ |
| 9 身体が緊張する。 | はい | 少し | いいえ |
| 10 自分を責める。 | はい | 少し | いいえ |
| 11 思い出したくないのにいやなことを思い出す。 | はい | 少し | いいえ |
| 12 食欲がない。 | はい | 少し | いいえ |
| 13 ものごと（勉強などや部活など）に集中できない。 | はい | 少し | いいえ |
| 14 頭やお腹が痛い。 | はい | 少し | いいえ |
| 15 何か不安だ。 | はい | 少し | いいえ |

今の気持ち 相談したいことがあれば書いてください。（どんなことでもいいです）

第（ ）学年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

資料6

教職員による児童・生徒の個人面接について

I 目的

1. 児童・生徒に表現する機会を与え、その表現を受け止めることにより衝撃を和らげる。
2. 特に配慮を要する児童・生徒を把握する。
3. 学校として安心感を与え、教職員と児童・生徒との絆を作る。

II 設定

- 1 時間：10分程度 場所：静かな個室
- 2 導入の文言

「私たちにとって、とても辛い出来事が起きました。このような出来事を体験すると、誰でも不安になったり、体調を崩したりします。今のあなたの状態を聴かせてください」

III 面接のポイント

1. 一人一人の生徒がこの事件（事故）を知って、どう思ったかについて聴く。

- 1 児童・生徒の感じ方については、批判したり評価したりせずに、ありのままに聴く。
- 2 児童・生徒が受け取っている明らかに間違った情報については、学校として確認していることを伝え、子どもの情報を修正する。
- 3 感情が高ぶっている時には、落ち着くまで待つ。
- 4 面接に拒否的な場合は無理に続けない。

2. 現在の状態について聴く。

＊「心と身体健康調査」の結果を見ながら行う。

- 1 このような体験をすると、不安になったり、体調を崩したりするのは、普通の反応であり、少しずつ回復していくものであることを伝える。
- 2 不安の状態や回復の経過には個人差があるので、恐れずにありのままの状態を話ししてほしいと伝える

3. 今後の対処法について、一緒に考える。

＊ この事態をのりこえていくため、次のような点を児童・生徒と確認する。

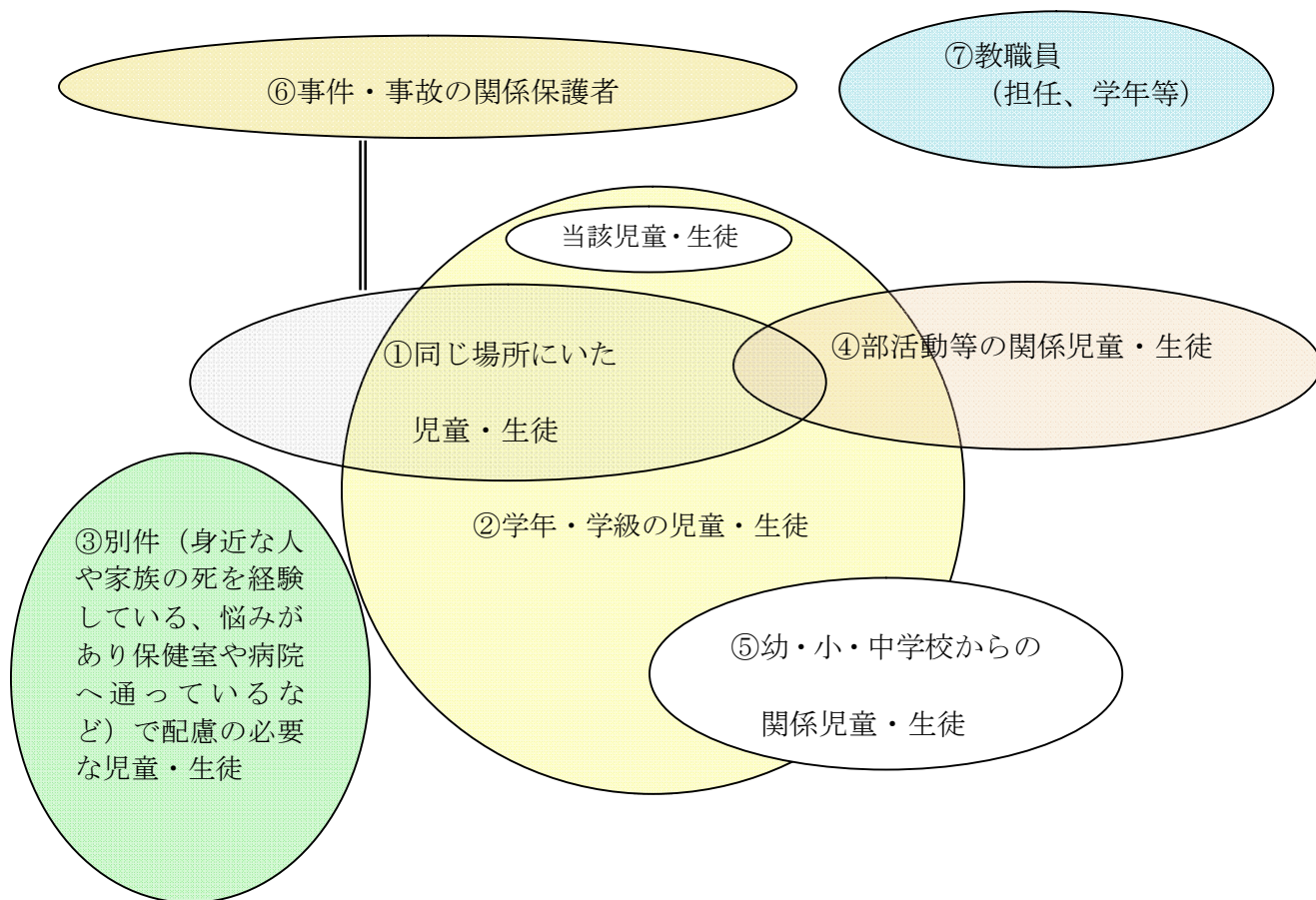
- 1 つらい気持ちは、話したくなったら、誰かに聴いてもらうのがよいこと
無理して忘れようとする必要はないこと
- 2 不安や辛さ、体調の悪さが続くときには、すぐ申し出るのがよいこと
- 3 できるだけ、普通の生活を続けていこうとすることが大切であること
- 4 今後このことについて、いつでも教職員に話をすることができること
皆で支えあって、この辛い状況を乗り越えていこうと考えていること

<留意点>

- 1 個人面接は、児童・生徒の表現の自由の機会を保障することであり、その表現を受け止めるために行う。その結果、児童・生徒から出てくるものを把握できてケアに繋がるという理解のもとに行う。
- 2 様々なうわさや憶測が流れる可能性がある場合は、混乱を避けるため、事実のみを文章化して、職員間で共有し、質問の返答に使用する。
- 3 「分かっていること」「不明なこと」を整理し、「分からないこと」を明確にしておく。

資料7

配慮を要する人間関係(例)



① 同じ場所にいた児童・生徒

事件・事故の現場と一緒に居合わせたり、目撃した児童・生徒のこと。

② 学年・学級の児童・生徒

当該児童・生徒の所属する学年や学級の児童・生徒のこと。

③ 別件(身近な人や家族の死を経験している、悩みがあり保健室や病院へ通っているなど)で配慮の必要な児童・生徒

今回の事件・事故とは直接関係ないが、最近家族内で不幸があったり、自分自身が精神的に不安定で医療にかかったり、保健室、教育相談室へ通っていて心配な児童・生徒のこと。

④ 部活動等の関係児童・生徒

当該児童・生徒と同じ部活動や学童保育などで関係のある児童・生徒のこと。

⑤ 幼・小・中学校からの関係児童・生徒

出身校が同じで、地域的にもつながっている児童・生徒のこと。

⑥ 事件・事故の関係保護者

上記①～⑤に該当する児童・生徒の保護者のこと。

⑦ 教職員(担任、学年等)